

第4章 参考資料

1 学校支援のためのコーディネーターに関する調査 調査票

(1) 地域連携教員用

学校支援のためのコーディネーターに関する調査【調査票】

地域連携教員用

○本調査は、学校支援にかかわるコーディネーターについて、その現状を把握するものです。本調査における「コーディネーター」は、次のような人を表します。

学校と地域の教育支援人材や機関（地域住民、学校支援ボランティア、団体・関係機関等）が連携する際の窓口となり、学校の地域連携活動について1回きりではない協力をを行う地域の人材（公民館職員等の行政職員を含む）。

調査項目

※記述以外の回答については、あてはまる欄に「1」をご入力ください。

■ 問1. 貴校には、コーディネーターがいますか。

- 学校や教育委員会から指名されたコーディネーターがいる → 人数 人
 正式に指名されていないが、コーディネーターの役割を果たしている人（地域の相談役）がいる → 人数 人

- コーディネーターはいない
→ 貴校において、コーディネーターがいない理由をお聞かせください。
※どちらかあてはまる方をご回答ください。

- a コーディネーターの必要性を感じない
→ 必要性を感じない理由をお聞かせください → 回答後、問6へ

- b コーディネーターの必要性は感じているが、配置ができていない
→ 配置できない理由をお聞かせください → 回答後、問6へ

■ 問2. 地域連携の担当として、コーディネーターとコミュニケーションが十分に図れていますか。 ※どちらかあてはまる方をご回答ください。

- どちらかと言えば十分である（満足している）
→ どのようなところから「十分」と感じますか。理由があればお聞かせください。

- どちらかと言えば十分ではない（満足していない）
→ どのようなところから「十分でない」と感じますか。理由があればお聞かせください。

■ 問3. 地域連携に関してコーディネーターに依頼している内容について、あてはまるものすべてを選んでください。

- 学校支援ボランティアを確保する
 学校とボランティアや外部の団体・機関等との連絡調整を行う
 教員や地域（地域住民、ボランティア、外部の団体・機関等）の要望を聞く
 地域連携に関する研修を計画したり、実施したりする
 学校の広報紙やホームページを通して情報を発信する
 学校と地域の交流を深める行事やイベントなどを計画したり、実施したりする
 ボランティア間の交流を深め、円滑な関係づくり（ネットワークづくり）を行う
 その他（具体的に）→

■ 問4.コーディネーターの配置に関する効果について、2つの選択肢の中からあてはまる方を選んでください。

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| a 様々な人がボランティアとして協力してくれるようになった | <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| b 学校と地域のつなぎ役となり、継続した連携活動ができるようになった | <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| c 教職員の負担が軽くなり、子供と向き合う時間が増えた | <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| d 研修や情報発信などを通して、地域連携に関する教職員の理解が深まった | <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| e 地域住民の学校への理解が深まった | <input type="checkbox"/> そう思う | <input type="checkbox"/> そう思わない |
| f その他(具体的に)→ | <input type="text"/> | |

■ 問5.コーディネーターの活動が充実するために、学校ではどのような支援体制が必要だと思いますか。必要だと思う項目上位2つを選んでください。

- 年間の活動がわかりやすくなるような、学校支援ボランティアに関する行事予定表などを作成する
- コーディネーターの役割や活動内容を示したマニュアル等を作成する
- ボランティアだよりやPTA通信などで、コーディネーターのことを紹介し、周知する
- 定例会等のコーディネーターとの定期的な打合せの時間を作る
- コーディネーターの活動経費を予算化する
- コーディネーターのスキルアップにつながる研修等への参加を促す
- その他(具体的に)→

■ 問6.地域連携を進める上で、コーディネーターにどのような力が必要だと思いますか。必要だと思う項目上位2つを選んでください。また、コーディネーターがいない学校は、求めるコーディネーター像としてお答えください。

- 学校支援ボランティアに関する活動、研修、交流会等を企画し、実践する力
- 地域の施設、文化、歴史、人材に関する情報を収集したり、地域連携に関する情報を発信したりする力
- 教員やボランティアと良好な関係を築くコミュニケーション力
- 学校支援ボランティアに適切な人や団体、地域の学習の場(施設など)を見つける力
- 活動経費を適切に使うことができる力
- 活動内容やコーディネートした内容を振り返り、次回の内容をより良いものへと変えることができる力
- その他(具体的に)→

■ 問7.その他、コーディネーターの活動・配置等について、ご意見をお聞かせください。

■ 問8.最後に、あなたご自身のことについてお教えてください。

- (1) 所属校名
- (2) 回答者(地域連携教員)名
- (3) 年代 20代 30代 40代 50代以上
- (4) 職名 教頭(副校長) 主幹教諭 教務主任 教諭(担任)
 教諭(担任外) その他(講師等)
- (5) 地域連携教員の経験年数 1年目 2年目 3年目
- (6) 社会教育主事の資格 有 無

ご協力ありがとうございました。回答が終わりましたら、上書き保存したデータをEメールに添付してご報告ください。

(2)コーディネーター用

学校支援のためのコーディネーターに関する調査【調査票】

コーディネーター用

○本調査は、学校支援にかかわるコーディネーターについて、その現状を把握するものです。

調査項目

※記述以外の回答については、あてはまる欄に「○」をご記入ください。

- 問1.あなたがコーディネーターとして活動している学校数をお答えください。また、中心的に活動している学校名を2つまでお答えください。

小学校 校

中学校 校

学校名

- 問2.コーディネーターとして活動する際、担当する先生とはどのように連絡をとっていますか。最も多い連絡方法1つをお答えください。

学校を訪問して会って話す

メールでやりとりをする

電話で話をする

通知等の文書で連絡をとる

その他(具体的に)→

- 問3.コーディネーターの活動を進めるにあたり、担当する先生とコミュニケーションが十分に図れていますか。※どちらかあてはまる方をご回答ください。

どちらかと言えば十分である(満足している)

→ どのようなところから「十分」と感じますか。理由があればお聞かせください。

どちらかと言えば十分ではない(満足していない)

→ どのようなところから「十分でない」と感じますか。理由があればお聞かせください。

- 問4.コーディネーターとして、どのような活動をしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

学校支援ボランティアを確保する

学校とボランティアや外部の団体・機関等との連絡調整を行う

学校の先生や地域(地域住民、ボランティア、外部の団体・機関等)の要望を聞く

地域連携に関する研修を計画したり、実施したりする

学校の広報紙やホームページを通して情報を発信する

学校と地域の交流を深める行事やイベントなどを計画したり、実施したりする

ボランティア間の交流を深め、円滑な関係づくり(ネットワークづくり)を行う

その他(具体的に)→

- 問5.コーディネーターの活動上の課題として、どのようなことを感じますか。2つの選択肢の中からあてはまる方を選んでください。

a ボランティアの確保が難しい

そう思う

そう思わない

b 活動に関して、教職員や保護者、地域住民の理解が得られない

そう思う

そう思わない

c 相談相手や一緒に活動してくれる仲間がいない

そう思う

そう思わない

d 先生とコミュニケーションや打合せの時間をとるのが難しい

そう思う

そう思わない

e 学校支援ボランティアや他地区・他の学校のコーディネーターとの交流や情報交換の機会が十分でない

そう思う

そう思わない

f 自分自身のスキルアップの機会が十分でない

そう思う

そう思わない

g その他(具体的に)→

■ 問6.コーディネーターとして活動が充実するために、学校からのどのような支援があると良いと思いますか。あると良いと思う項目の上位2つを選んでください。

- 年間の活動がわかりやすくなるような、学校支援ボランティアに関する行事予定表などがある
- コーディネーターの役割や活動内容が書かれたハンドブックがある
- ボランティアだよりやPTA通信などで、コーディネーターのことを紹介する機会がある
- 定例会等、先生との定期的な打合せの時間がある
- コーディネーターが活動に使うことができる予算がある
- 自分のスキルアップにつながる研修会などがある
- その他(具体的に)→

■ 問7.コーディネーターの活動をする上で、コーディネーターにはどのような力が必要だと思えますか。必要だと思う項目上位2つを選んでください。

- 学校支援ボランティアに関する活動、研修、交流会などを企画したり、実施したりする力
- 地域の施設、文化、歴史、人に関する情報を収集したり、学校支援ボランティアに関する情報を発信したりする力
- 先生やボランティアと良好な関係を築くコミュニケーション力
- 学校支援ボランティアに適した人や団体、地域の学習の場(施設など)を見つける力
- 活動に関する経費を正しく使うことができる力
- 活動やコーディネートした内容を振り返り、次回の内容をより良いものへと変えることができる力
- その他(具体的に)→

■ 問8.その他、コーディネーターの活動・配置などについてご意見がありましたら、お聞かせください。

■ 問9.差し支えなければ、あなたご自身のことについてお教えてください。

- (1) 氏名
- (2) 性別 男性 女性
- (3) 年代 30歳未満 30代 40代 50代 60歳以上
- (4) コーディネーター歴 1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 5年以上
- (5) 経歴 ※最もあてはまるもの1つをお答えください。
- 保護者・元保護者
 - 元教員
 - 民生委員・児童委員、自治会役員などの地域の代表
 - 公民館・生涯学習センター職員などの行政職員
 - その他(具体的に)ご記入ください →

ご協力ありがとうございました。

回答が終わりましたら、下の返信先までFAXまたはEメールにてご返信くださいますようお願いいたします。

<<返信先>>

栃木県総合教育センター生涯学習部

FAX番号:028-665-7219

メールアドレス:shogai-c@tochigi-edu.ed.jp

※FAXの場合は、送信票を付けずに調査票のみを送信してください。

※Eメールの場合は、件名に「コーディネーター活動状況調査報告」とご記入ください。